

【資料4】

中山間地域ふるさと事業 について

埼玉県農林部
農業ビジネス支援課

中山間地域ふるさと事業とは

- ◆中山間地域が有する多面的機能の発揮と、地域住民活動の活性化を目的とする。
- ◆中山間ふるさと・水と土保全対策事業実施要綱(農林水産省)に基づき、都道府県に基金を設置。埼玉県の積立額は約6億円。
- ◆事業主体は都道府県。
- ◆運用益と基金を取り崩して事業費としている。令和6年度当初予算額は約16,028千円。

事業の構成

1 調査研究事業 令和6年度予算額：12,347千円

- ・ 地域住民活動の活性化に係るワークショップ等の実施
- ・ 大学生等の外部の力を活用して集落の活性化を図る取組を実施
- ・ 集落営農を確立するための新たな生産技術や鳥獣害対策の調査研究

2 研修事業 令和6年度予算額：340千円

- ・ 地域活性化に必要なリーダーとなる人材を育成するための研修会の実施

3 啓発推進事業 令和6年度予算額：1,157千円

- ・ 中山間地域の持つ多面的機能の理解増進についての普及・啓発活動の実施

コンサルタント等による支援 (令和6年度予算額 : 4,500千円)

地域住民の話し合いや地域による都市農村交流イベントの実施により、農林業・農山村の多面的機能の良好な発揮を促進する。

本庄市 (R5～) 日本コンサルタントシステム株式会社

- ・ 本庄市中山間地域の魅力発揮による都市間交流の促進をテーマに、地域資源の調査や、農地有効活用方策や都市間交流事業を検討するためのワークショップを開催した。
- ・ ワークショップの結果に基づき、マルシェや農業イベント等のテストイベントの企画、実施に向けた検討を行った。
- ・ R6は昨年度の活動を踏まえた地域活性化の取組が行われる。

新規地区 (R6～)

- ・ 6月下旬頃に地区が確定する予定。

秩父地域 (R6～) 「埼玉県産いちごを活用した地域活性化」

- ・ 本県中山間の有力な地域資源である県産いちごを活用し、地域活動の活性化、産地への誘客促進などを図り、中山間地域の活性化を図る。

県の研究機関による支援

(令和6年度予算額：920千円)

1 概要

中山間地域において、地域住民活動の活性化に資することを目的に、集落営農を確立するための調査研究を県研究機関が実施する。

県農業技術研究センターでは「鳥獣害対策」、県茶業研究所では「お茶の生産技術」に関する研究を実施している。

2 令和6年度実施計画

(1)野生獣の農作物被害防止総合対策の推進

- サルの雌成獣に発信器を装着し、行動域・移動ルート等を調査（サル群の行動把握と地図化）
- 捕獲檻に対する野生動物の行動を解析し、効率的な捕獲地点の選定と捕獲実証を実施
- 被害防止対策の検証（侵入防止柵の効果確認） など

(2) お茶の生産技術の確立（秩父地域における茶の栽培加工技術の向上）

- 中山間茶園に適した土壌改良、施肥、整枝方法等を検証
- 製茶技術指導等により製茶技術の向上を図り、生産者、流通業者、消費者を交えた求評会を開催
- 新茶種や茶加工品素材等の生産基盤の検討及び商品化利用を検証 など

ふるさとリーダー研修

中山間地域の活性化の推進及び助言等を行う人材を育成する。 (令和6年度予算額：340千円)
 令和6年度も2回(1回目：7～8月、2回目：11～12月)開催予定。

(令和5年度実績)

第1回：都市農山村交流実践研修会

- ・開催日：令和5年8月9日(水) ・参加人数：26名(農業者)
- ・テーマ：「成功事例に学ぶ！地域農業をけん引する観光農園経営のすすめ」
- ・講師：①県農業技術研究センター 野菜育種担当 担当部長 尾田 秀樹氏
 ②株式会社 ヒロファーム 代表取締役 中村 知由氏
- ・内容：①県農業技術研究センター職員による県オリジナル品種の普及の取組について紹介
 ②観光農園におけるお客の声を反映したサービスの提供や、いちごの品質向上を図るための実証栽培の取組等を通じた経営展開等に関する講演を開催。



第2回：都市農山村交流実践研修会

- ・開催日：令和5年11月16日(木) ・参加人数：15名(地域おこし協力隊員等)
- ・テーマ：「埋もれた地域の魅力を掘り起こせ！～全国各地で活躍する地域活動実践者から学ぶ～」
- ・講師：株式会社なとね 代表取締役 上田 嘉通氏
- ・内容：講師自身が手掛けたプロジェクト事例を踏まえた、地域活性化に向けた地域資源の活用や仲間づくり、関係人口創出などの方法に関する講演を開催。



講演の様子

中山間地域における取組の広報

中山間地域の持つ多面的機能の理解増進についての普及・啓発活動を実施する。（令和6年度予算額：1,157千円）

令和6年度中山間ふるさと啓発推進事業（業務委託：秩父観光農林業協会）

中山間地域の活性化に向け、地域の農業者や農業関連団体との協働により、地域の特産農産物や農業の取組、多面的機能に関する広域的な広報活動などを行う予定。

【ブルーベリーの啓発】

- ・時期：令和6年7月上旬頃
- ・場所：秩父鉄道SL車内
- ・内容：秩父鉄道SL乗客に対し、秩父地域産のブルーベリーの試食や観光農園PR用パンフレット等を配布

【シャインマスカットの啓発】

- ・時期：令和6年9月上旬頃
- ・場所：秩父鉄道SL車内
- ・内容：秩父鉄道SL乗客に対し、秩父市産シャインマスカットの試食や観光農園PRチラシ、中山間地域振興に関する啓発用チラシを配布



その他

- ・ポータルサイト「グリーン・ツーリズム埼玉」での中山間地域の観光農園やイベント等の情報発信
- ・イベントでの啓発資料配布・パネル展示
- ・情報誌の配布

中山間地域ふるさと事業

中山間ふるさと・水と土保全推進事業

(棚田基金)

棚田基金の構成

1 保全ネットワーク推進事業

- 保全活動への都市住民等の参加推進を図るために行う普及・啓発及び情報の収集・提供

2 保全活動推進事業

- 保全活動を行おうとする住民組織の活動計画等の作成

3 保全活動支援事業

- 住民組織が行う保全活動に要した経費に助成

※地域振興関連施策（中山間地域等直接支払等）と連携

棚田基金を活用した取組 (令和6年度予算額：419千円)

棚田地域に関する情報を発信し、都市住民も交えた地域住民活動を推進。

＜令和5年度の活動＞

西武鉄道や横瀬町観光協会と連携し、横瀬町でのハイキングイベントやあしがくぼ氷柱イベントにおいて、寺坂棚田で生産された棚田米や棚田めぐりガイドを配布し、都市住民に向け情報発信を行った。



11/19 横瀬町（札所6番ト雲寺）
（横瀬町ウォーキングイベント）



イベントには、多くの観光客が訪れ、「寺坂棚田にも寄りたいたいと思う。」「棚田で作ったお米がもらえるなんて嬉しい」などの声が聞かれた。



1/27横瀬町（道の駅あしがくぼ）
（あしがくぼ氷柱イベント）

寺坂棚田の様子



令和6年度寺坂棚田学校開校式の様子
※寺坂棚田学校HP



「つなぐ棚田遺産」認定の看板



寺坂棚田ホタルかがり火まつり（7月上旬）
※横瀬町観光webサイト



彼岸花まつり（9月中～下旬）

令和3年度「つなぐ棚田遺産」
（ポスト棚田百選）に認定

寺坂棚田
（「つなぐ棚田遺産」
サイト掲載写真）



つなぐ棚田遺産が認定されました！

「つなぐ棚田遺産」サイト
（農林水産省HP）